

<共通教材>

心の歌

「心の歌」は、長い間歌い継がれ、これからも歌い継いでいきたい歌です。
日本の歌の美しさを味わいましょう。

<「心の歌」>

・赤とんぼ	三木露風作詞	山田耕筰作曲	(教科書 中1 P24、25)
・荒城の月	土井晩翠作詞	滝廉太郎作曲	(教科書 中3 P20、21)
・早春賦	吉丸一昌作詞	中田 章作曲	(教科書 中2 P22、23)
・夏の思い出	江間章子作詞	中田喜直作曲	(教科書 中3 P12、13)
・花	武島羽衣作詞	滝廉太郎作曲	(教科書 中2 P4、5)
・花の街	江間章子作詞	團伊玖磨作曲	(教科書 中2 P12、13)
・浜辺の歌	林 古溪作詞	成田為三作曲	(教科書 中1 P16、17)

■ それぞれの曲にどのような美しさがあるか、学習を振り返ってみよう。



「赤とんぼ」(教科書 中1 P24、25) について考えてみましょう。

○ 歌詞を朗読して、情景を思い浮かべてみましょう。どんな思いがこめられているかな。(P25の作者の言葉も参考にしてみましょう)

○ 「赤とんぼ」からどんな雰囲気を感じ取りましたか。また、それは音楽的に、どういったことからそう感じたのかな。

音楽には、いろんな要素があったね。



○ 「赤とんぼ」をどのように歌いたいですか。自分の思いを書いてみよう。

○ 「赤とんぼ」の美しさとは、なんだと思いますか。

○ 気持ちをこめて歌ってみよう。